

令和6年度第3学期始業式

皆さん、おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。

本日、生徒の皆さんが元気に登校し、この冬休み中も大きな事故やけがもなく、無事に始業式を迎えられたことに感謝します。

令和7年がスタートしましたが、皆さん、新たな決意や目標を持って、新年を迎えた人も多いのではないかと思います。

昨年元旦は最大震度7を観測する能登半島地震、翌日にはその災害支援活動に向かう海上保安庁の航空機と民間機が衝突する羽田空港地上衝突事故が発生し、国内が正月気分から一変して、悲しみに襲われるという新年の幕開けでした。今年は皆さんにとって穏やかな初春を感じる事ができる冬休みでしたか。私は家族や親戚とゆっくりと過ごすことができました。

今年は、巳（へび）年です。諸説ありますが、へびは脱皮を繰り返して成長していくところから『再生』『成長』のイメージがあり、『蛇行』という言葉にも象徴されるとおり、ゆっくりと曲線を描きながら進む姿から「変化する環境に柔軟に対応する力」をイメージさせる生き物とされています。その他、他の生き物に比べて、長期間餌を食べなくても生きて行ける生命力を持っていることから、生命力の象徴や田畑を荒らすネズミを捕食することから、「豊穡の神」とか、恵みの雨をもたらす「天候の神」としても崇められる存在だったようです。一見敬遠されがちな生き物ですが、縁起が良い生き物であったようです。今年は皆さんも巳年にあやかって、今までの自分から脱皮して、更なる成長を遂げてほしいと思っています。

そのためには、昨年から再三、言っています「トライ&エラー」の精神を養うことが大切です。失敗を恐れず、諦めず挑戦を繰り返すことです。私はいつも自分に言い聞かせていることがあります。「今、やらずに後悔するよりも、やって後悔することで悔いはなし」という考えで行動しています。同じ失敗でも悔いの残らない失敗をしたい。失敗は何も恥ずかしいことではありません。成長には不可欠な要素です。最初から一流にはなれないし、めざせるものではありません。最後まで自分を信じて、決して自分で自分の限界を作らないように、また、皆さんが自分の気づいていない可能性を最大限に発揮できるように、諦めずにまずは自分自身に挑戦することから始めていきましょう。特に、3年次の受験を控えている皆さん、あと少し頑張りましょう。

最後になりましたが、いよいよ3学期です。今学期は卒業式、総合学科発表会、学年末考査など、3年次は3年間、1・2年次は1年間の集大成となります。3年次は卒業後を見据えて、2年次は悔いの残らないこれからの1年間の過ごし方、1年次は今年よりも上手く、余裕のある学校生活を送れるよう、しっかりとけじめをつけた年次の締めくくりとしていきましょう。また、インフルエンザ等の感染症が流行しています。各自が体調管理に努めて、令和7年が皆さんにとって、素晴らしい1年となることを期待して、第3学期始業式の式辞とします。

令和7年1月8日

校長